

新年明けましておめでとうございます

8月13日にグランドオープンして、初の年末年始となりました。

昨日大晦日は中野区休日当番医で一年を閉めました。

脳神経外科を軸として、高血圧、脂質異常、糖尿病など脳卒中へと直結する内科疾患、地域のかかりつけ医としての一般内科の診療を行って参りました。今年からは、リハビリテーションの需要をさらに高めるべく、整形外科外来を新設致します。

院長は水曜日の午前中は、ホームベースである警察病院にてカテーテル手術を行います。クリニックで診断された治療が必要な患者さんと共に警察病院へ行き、術前、術中、術後のマネージメントを行っております。また、頭蓋底腫瘍など極めて難しい症例は、院長の知るエキスパートへと紹介し、最善の治療へと導いてきました。

そのため、水曜日の午前中は警察病院副部長の阿部肇医師の外来を開設します。

(阿部医師の所属は以下サイト)

<https://www.keisatsubyoin.or.jp/shinryoka/noukekkan/list/>

また、隣ビル「別館」においては、コロナウイルス感染症検査室として、発熱者や濃厚接触者の抗原検査、PCR検査を受け付けております。ウイルス感染症に積極的に関与するのは気持ち良いものではありませんが、1人でも検査を受けられない患者様を解消できるよう、「発熱診療医療機関」として指定を受けました。幸にして隣ビルという「空間的な分離」を行う事で、感染と非感染の患者さんが交わらないように工夫しております。

コロナウイルス感染が15分で分かる抗原検査陰性の場合、クリニック本館に移動して熱の原因検査を行います(発症2日～9日以内の抗原検査陽性はPCR陽性と概ね一致していることが分かりました)。

「発熱＝コロナウイルス感染」では決して無く、コロナウイルス感染症以外の重症な感染症や発熱疾患を見逃さないように心がけます。CTにて肺炎球菌性肺炎や胆嚢炎、また腰椎穿刺で髄膜炎など様々な疾患が見つかるケースも昨年は有りました。

そんなこんなで、昨日まで診療を行いバタバタした年越しとなりました。年始は再び1/3の休日当番医からのスタートです。

今年(令和3年)も前半は、コロナ感染とのまだまだ厳しい戦いを強いられるでしょうが、ワクチン接種始め、後半には少しずつ笑顔の出る世の中になって欲しいものです。

今年も当院は全力で走り抜けます。地域医療に奮闘して参ります。

地域医療への貢献、健康寿命の延伸に向け、少しでもお役に立てるよう努力して参ります。

皆様、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2021年元旦